２０２０年度　文部科学省　中卒認定　国語　勉強法についてのスピ

文部科学省　２０２０年度　中学校卒業程度認定試験　国語

文部科学省ウェブサイト利用規約（公共データ利用規約　第１．０版準拠）

対象ページを抜粋し、出典表紙を追加。

https://www.mext.go.jp/content/20220331-mxt_syogai02-mext_1422378_00001_1kokugo.pdf

https://www.mext.go.jp/b_menu/1351168.htm

4 山田さんは、「私の勉強法」というテーマで、下級生にスピーチをすることになりました。次は、**【スピーチメモ】**と**【実際のスピーチ】**です。これらを読んで、後の1から3までの問いに答えなさい。

【スピーチメモ】

私の勉強法
　○朝やる
　　→勉強がはかどる。
　○好きな文房具を使う
　　→気分が高揚。やる気が出る。
　○その日に授業がある教科をやる
　　→予習になる。理解が進む。

（まとめ）自分に合った勉強法を見つけることが大切

【実際のスピーチ】

これから私の勉強法について、工夫していることを話します。もともと、勉強は好きなほうではありませんが、この方法を取り入れてから、授業に積極的に取り組めるようになり、先生の話していることがよく理解できるようになりました。だから、私のように勉強が苦手な人にはぜひ試してほしいです。

具体的には、三つの工夫をしています。一つ目は、朝、勉強するということです。早起きに慣れてしまえば、夜より朝のほうが頭がすっきりして勉強がはかどります。二つ目は、好きなキャラクターの文房具を使うということです。それだけで私は、気分が高揚し、やる気が出ます。三つ目は、その日に授業がある教科をやることです。なぜなら、（　　A　　）。

このような勉強法を続けて一年たちますが、私にはとても合っています。今、最終学年になって、日々の学習がどれだけ重要であるかを実感しています。学習する内容は、どんどん難しくなるため、自分に合った勉強法を見つけることは、中学校生活においてとても大切だと思います。いろいろ試しながら自分ならではの勉強法を見つけてください。

1　山田さんのスピーチの工夫として最も適切なものはどれか。

ア　問いかけを多用することで、最初から最後まで聞き手の興味を引くようにしている。

イ　工夫していることがいくつあるかを先に伝えることで、聞き手の理解を助けている。

ウ　自分の体験だけでなく、他の人の意見も取り入れて話すことで、説得力を高めている。

エ　利点ばかりでなく欠点も話すことで、客観的な立場から話を進めようとしている。

2　気分が高揚し、やる気が出ます　とあるが、「高揚」という言葉は、聞き手である下級生には分かりづらい。聞いて分かりやすい表現になるよう、次の文の（　　）に当てはまる言葉を書きなさい。

気分が（　　）、やる気が出ます。

3　**【スピーチメモ】**を参考に、**【実際のスピーチ】**の（　A　）の中に入る言葉を、「なぜなら、」に続けて、**実際に話すように一文**で書きなさい。